



さいかい

2024.2
Vol.115
winter

Contents

- ・ 県学会 案内
- ・ 県士会事業の取り組み
- ・ 私たちこんなことやってます
- ・ 健康福祉祭り
- ・ 達人tell me
- ・ 広報局のすすめ本
- ・ ママさんOT

第30回 長崎県作業療法

テーマ

専門的な作業療法の探究と発展

開催日

令和6年3月9日（土）～10日（日）

（現地開催、L I V E 配信）

■オンデマンド配信：令和6年3月18日以降

4年ぶりの現地開催!

ぜひ現地に足を運んで頂き、久しぶりの県学会の
雰囲気を感じてみませんか？

参加登録が2/1～開始されます!

本学会へご参加の方は、本学会ホームページからの参加登録となります。
会期中、当日の参加受付は混雑することが予測されるため、事前の参加登録にご協力
をお願いいたします。

4年ぶりにレセプション(懇親会)が開催されます!!

- 日時：2024年3月9日（土） 18：30～
- 会場：L&Lホテル センリュウ（諫早市永昌東町13-29）
- 会費：6,000円

※レセプションの参加申し込みは、本学会の事前参加登録の際にお受けいたします。



いろいろな施設のOTと交流できるチャンスです!
皆様ぜひお誘い合わせの上ご参加ください♪

特別講演・教育講演 講師案内

特別講演

講師：岡野 昭夫 先生（中部大学 教授）

「ハンドセラピー技術の探究と発展

－中枢神経障害に対するハンドセラピー技術の応用－



教育講演Ⅰ

講師：山田 麻和 先生（長崎北病院）

「作業療法士として、どう高次脳機能障害に向き合うべきか

－症例検討の重要性：目の前の患者が教科書である－



教育講演Ⅱ

講師：光永 済 先生（長崎大学病院）

「作業療法士の役割と使命：社会から必要とされる存在としての挑戦と成長」



学会が開催されます！！

学会長 山田 玄太 (愛野記念病院)

会場 愛の夢未来センター (雲仙市愛野町)



日程表

3月9日 (土)			3月10日 (日)		
	第1会場	第2会場		第1会場	第2会場
8:20	受付 8:50~9:00 開会式		8:30	受付	
9:00	9:00~10:00 (60分) 特別講演 講師：岡野昭夫先生 (中部大学)		9:00	9:00~10:00 (60分) 離島シンポジウム 篠田真 平城修吾	
10:00	休憩 (10分) 10:10~11:10 (60分) 教育講演 I 講師：山田麻和先生 (長崎北病院)		10:00	休憩 (10分) 10:10~11:20 (70分) テーマシンポジウム III 摂食嚥下 尾坂愛菜 本田秀明 中村恭平	10:10~10:50 一般演題 V 高次脳機能障害 10:50~11:20 一般演題 VI MTDLP
11:00	休憩 (10分) 11:20~12:30 (70分) テーマシンポジウム I 精神科急性期 前田大輝 林田浩司 杉村彰吾	11:20~12:00 一般演題 I 運動器疾患 1 12:00~12:30 一般演題 II 運動器疾患 2	11:00	休憩 (10分) 11:30~12:40 (70分) テーマシンポジウム IV 特別支援教育 前田航大 岩永裕人 徳永瑛子	11:30~12:10 一般演題 VII 脳血管疾患 1 12:10~12:40 一般演題 VIII 脳血管疾患 2
12:00	12:30~13:30 昼休憩		12:00	12:40~13:00 閉会式	
13:00	13:30~14:30 (60分) 教育講演 II 講師：光永済先生 (長崎大学病院)				
14:00	休憩 (10分) 14:40~15:50 (70分) テーマシンポジウム II 脳血管障害 佐古英樹 劉濤 萩原敦	14:40~15:20 一般演題 III 地域 15:20~15:50 一般演題 IV 高齢期			
15:00	休憩 (10分)				
16:00	16:00~16:40 (40分) 優秀演題 若手優秀演題・最優秀演題				



check

テーマシンポジウムとは??

各分野で専門的に活躍されている先生方にご登壇いただき作業療法について討論する場となっております。

経験豊富な先生方のご発表やご意見が聞ける大変貴重な機会です。是非ご参加ください。

学会ホームページ・Instagram随時更新中!



ホームページ



Instagram



県士会事業の取り組み

倫理委員会

●倫理委員会ハラスメント研修会を開催

倫理委員会では、12月13日（水）にWEB研修会を開催しました。テーマは「組織におけるハラスメントの正しい理解と対策～自身を守るための対処法や法的対応～」とし、中西祥之弁護士（中西総合法律事務所）に講演いただき、37名の方にご参加いただき有意義な時間となりました。倫理に関するお問い合わせは、倫理担当窓口までご連絡ください。



地域生活推進局

●運転と作業療法班

運転と作業療法班では、WEB開催で「運転再開支援や移動支援におけるOTとして関わるための基礎知識や役割について」のテーマで、藤田佳男先生（千葉県立保健医療大学）に講演いただき、43名の方にご参加いただきました。今後は、九州で運転と地域移動支援に関するチームを発足し、研修会や情報共有をすすめていきます。

事業局

●地域包括ケア対策部

- ・推進班では、地域共生社会5ヶ年戦略に向けたOT協会の方向性や研修内容をまとめた「ニュースレター」をブログに掲載していますので、ご確認ください。



ニュースレター
はこちら

- ・福祉用具班

現在の福祉用具相談支援システム登録者数172名。生活行為工夫情報事業への事例登録の協力もお願いします。また、主催研修会の「福祉用具の手作り体験研修」の内容はブログに掲載していますので、ご確認ください。



事例登録動画
はこちら



報告ブログ
はこちら

●他団体対策部

- ・災害リハ班では、「避難所での支援ってどうすればいいの？」～避難所生活を理解し対応しよう～というテーマで、長崎市と佐世保市で避難所体験会を実施し、多数の参加をいただきました。興味がある方は災害リハ班までご連絡下さい。
- ・4団体合同班では、3月2日と3月3日の2日間で「令和5年度地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修会」を開催します。地域での予防事業やケア会議、住民主体の通いの場への参加には必須の研修となりますので、ぜひご参加ください。



研修案内
はこちら



長崎県作業療法士会 研修会等補助金事業について

学術局

学術局では、研修会の企画に対して直接経費の補助を行う事業を行なっています。

具体的に言うと直接経費とは、講師謝金や講師の交通費、会場費等であり、日頃ではなかなか学べない日本トップの作業療法士の先生方を講師に招くチャンスとなるかと思えます。

申請方法は長崎県作業療法士会のホームページに記載しており、何かご不明な点があれば学術局までご連絡いただければと思います。

さて、昨今コロナ禍において補助金申請の件数は減少しておりましたが、今年度は身体障害領域、精神障害領域等4件申請があり、それぞれ盛況だったようです。4件の補助金事業の中から令和5年12月16日に開催された、ふもとの会・長崎高次脳機能研究会の合同主催での研修会を紹介したいと思います。



補助金事業
詳細はこちら

半側空間無視に対する作業療法に関する研修会を開催しました

令和5年12月16日に研修会等補助金事業を活用させていただき、ふもとの会・長崎高次脳機能研究会の合同主催での研修会を長崎大学医歯薬学総合教育研究棟での対面形式とZOOMを用いたハイブリット形式で開催いたしました。

本研修会では、「半側空間無視に対する作業療法を考えよう」というテーマを設け、「半側空間無視に関する基礎研究の知見」について、茨城県立医療大学の石井大典先生に、「半側空間無視に関する病態と評価」について大松聡子先生に、「半側空間無視に対する介入」について熊本保健科学大学の松尾崇史先生に講義をしていただき、その後長崎北病院の山田麻和先生をファシリテーターとして迎え、シンポジウム形式にて、講師と参加者との間での討論会を実施しました。講師の先生方からは、最新の知見についてご紹介していただくとともに、討論会においては、参加者からの質問に対して、これまでの臨床経験からの知見についてもご紹介していただき、活発な討論会も実施することができ、基礎から臨床まで系統的に半側空間無視に対する作業療法について学ぶことができました。



上肢訓練用ロボットのご紹介

社会医療法人春回会 長崎北病院 牧野航



ロボット療法について

ロボット療法は訓練用ロボットを用いたリハビリテーション治療を指し、近年その活用について様々な注目がなされています。『脳卒中治療ガイドライン2021』では、推奨度B（エビデンスレベル高）となっており、ロボット療法を脳血管障害の上肢機能障害のリハビリテーション治療に用いることを推奨されています。また、2020年の診療報酬改定では厚生労働省が認めた上肢訓練用ロボット（ReoGo-J、CoCoroeAR2、CoCoroePR2）を用いたリハビリテーション治療を実施した場合に「運動量増加機器加算」として月1回に限り150点を所定点数に加算することが可能となっています。



当院にある上肢機能訓練用ロボット



製品名：ReoGo-J

イスラエルのモトリカ社の製品で、モトリカ社からライセンスを受けた帝人ファーマ株式会社と日本人の体格に合わせた改良を行い、小型化・軽量化を実現した製品です。

下部からアームが上肢を支えるタイプです



左の図は基本の4種類（全17種類）

➡ 患者様による動作 ➡ アームの動き

求める 随意運動 少 多	全介助	アームが軌道上を自動的に動きます。
	自動介助 (初動時負荷)	初動時の正しい方向に力を加えることで、アームが軌道上を自動的に動きます。
	自動介助 (段階的)	軌道はいくつかに分断され、その断ごとの初動時に正しい方向に力を加えることでアームが自動的に動きます。
	自動運動 (軌道アシスト)	アームが軌道上を低速で自動的に動きます。加える力を変えると速度が変わります。
	自動運動	アームは自動的に動きません。軌道の保持もありません。力を加えると速度と方向が自由になります。

5段階のアシストで段階付けが可能です



製品名：CoCoroe AR2

AR2はArm Rehabilitation Robotの頭文字。

問い合わせ先はオージー技研株式会社。

頭上からの吊り下げタイプであり、上肢の重さを介助しながら3次元方向への動作訓練が可能です。また、電気・振動刺激装置がついており、併用が可能です。

手装具



手装具と免荷用ワイヤをつなぎます。患者さんの状態に合わせて、つり位置の近位・遠位を選択可能。また、運動時の前腕の自由度を固定、もしくはフリーに調整できます。

電気刺激装置



刺激のタイミングは訓練スイッチに同期する/しないが選べます。患者様の動きと同期して刺激を与えることが可能です。

振動刺激装置



主動作筋に直接貼り付けることで、運動時の筋に適切な振動刺激を与えます。

訓練パターンの紹介 例：リーチング



その他にも以下のパターンがあります

- ・口元へのリーチング
- ・肩関節内旋・外旋
- ・肩水平内転・外転
- ・対角リーチング



使用してみたの印象

当院には幸いにも上記の2台を導入していただいております。ReoGo-Jは全介助モードや手部だけでなく前腕から支持してくれるハンドルもあるため、麻痺の重度な方にも使用し易いと思います。また、力を入れている方向を矢印でフィードバックしてくれるので、共同運動などで意図しない方向に上肢が動いた際にも視覚的にわかりやすいです。

AR2は電気・振動刺激が内臓されており運動に付随して刺激が入るため、促通効果が期待できます。また、机上に置かれた2つのスイッチを交互に押すため、空中に手を上げての3次元の動作が行え、主に上肢の挙上（肩関節の屈曲）を練習することができます。

どちらのメリットを目的に活用するか、ADLにどのように落とし込むかを考えながら活用しております。また、自主トレーニングとして行えるとより回復が期待できると思います。

長崎県作業療法士会 啓発活動報告

【平戸福祉健康まつり】

報告者：横山義隆(青洲会病院)

令和5年10月29日に平戸文化センターにて健康福祉まつりが開催されました。コロナ禍で展示物のみの開催が続いておりましたが、4年ぶりに対面開催となりました。作業療法士会ブースでは広報誌「rough」の配布、革細工・自助具体験、精神保健予防班からは『睡眠チェック』を実施しました。ブース来客は296名と大盛況でした。各専門職、民生委員連合会などによる出店や催しもたくさんあり、市民の皆様が休日のひとときを楽しまれていました。



24時間テレビ
×
OT啓発活動

24 Hour Television 46

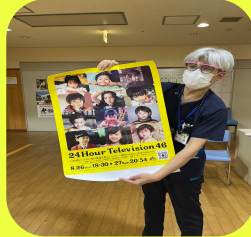
「明日のために、今日つながろう」

2023年8月27日に佐世保市アーケード内まちなかコミュニティセンターで県北地区作業療法啓発活動を行いました。市民参加者は90名、募金総額24,990円を集めることができました。みなさん想像してください!!

“作業療法がどれくらい市民に認知されているか”を…。募金を渡しに行くことや買い物するなど目的があって行動している市民に対して少しでも我々の活動に興味を持ってもらうことの難しさを実感しました。人が集まる場所に出向かないと作業療法を知ってもらえないのが現状です。若手の力(アイデア)が必要です。啓発活動に参加して作業療法の未来を一緒に作っていきましょう!

「明日のために、今日からつながろう」

報告者：塚本倫央(長崎労災病院)



【健康しまばら福祉まつり】

◀参加されたスタッフからの感想▶

令和5年11月26日(日)に島原復興アリーナにて開催されました。コロナ禍で中止されていた福祉まつりでしたが、4年ぶりの対面開催ということで多くの来場者がありました。今回はPT・OT・ST三士会合同で認知症についての企画を行い、OTでは認知症についての講話、脳トレの紹介、普段の臨床でのかかわりや訓練の紹介も踏まえて啓発ができました。

報告者：県南地区理事 松尾忠昭・坪田優一



久しぶりの福祉まつりの参加で、初めて来場者への講話をする機会がありました。聞く側と違う雰囲気を感じ、来場者に合わせた説明をする事の難しさを感じた。今後は大勢の参加者の前で講話をする機会が多くなると思うので、落ち着いてわかりやすい説明ができるように、日々の自己研鑽を励み、目配り・気配りをできるようにしたい。院外の従事者との交流や先輩OTの先生からアドバイスを頂く機会もあり、士会活動の大切さを感じた。これからも健康増進や作業療法啓発に繋がる活動を行っていきたい。

(公立小浜温泉病院：永田)

今回、しまばら福祉まつりに初めて参加しました。講話に参加者と一緒に聞き、認知症についての基礎知識は勿論、豆知識なども必要であると感じた。福祉まつりを通して作業療法を皆さんに知ってもらうことも大事。他施設のPT・OT・STの先生方と話す機会も多く、横の繋がりも深める事ができ良かった。

(公立小浜温泉病院：渡部)



スタッフの皆様、
お疲れ様でした!



～認知症の現場に立って、
OTでよかったあ、、、私の体験～

医療法人晶生会 認知症疾患医療センター 宮川 由香

年末年始の認知症のトピック。昨年12月、アルツハイマー病の新薬「レカネマブ」が実際に医療現場で使用されるようになったこと。もう一つは、今年元旦、「認知症基本法」が施行されたことです。これら大きな出来事で、私たちが直面している「認知症の実際」に今後どれほどの変化が起こっていくのでしょうか？

私事ですが、OTとなり、35年以上の年月が経ち、そのほとんどが、認知症の方々と時間だったと思い起こします。最初に勤めたのは岡山にある700床以上ある精神科病院。担当したのは認知症病棟。全員つなぎ服を着て、ほとんど寝たきり、聞こえてくるのは奇声、またはうめき声、そんな病棟に初めてOTが入りました。初日、鍵盤ハーモニカを手持ちし、ホールで「夕焼け小焼け」「君が代」を弾きました。焦点の定まらない淀んだ瞳のその人たちの目に色が入り、ピアノに合わせて口が動く、指で拍子をとる、その人たちは、かすかな声で歌を歌いました。その後、看護師が、一人二人と患者さんを離床させて連れてきてくださるようになり、小さな集団が次第に育っていきました。それが、私のOT原風景です。

その後、

1996年 出口病院との出会い

上記原体験が私の軸となり、出口病院でのOT開設、その後の認知症治療病棟の立ち上げに結びついていきました。

2002年 重度認知症デイケアゆうばの開設

岡山にある「山本クリニック」がヒントになりました。ホテルのロビーのような優雅な空間で、認知症の方々がソファに座りくつろいでいるご様子、素敵な香り、レクリエーション禁止、職員はユニフォームを着ず、皆がその風景に溶け込んでいました。尊厳とは何か、その後も考え続けました。

2006年 東京の在宅診療専門のこだまクリニックの往診に一日同伴

患者を回り、認知症の方へのアウトリーチの考え方、手法、家族支援を具体的に学ぶ機会になりました。この年、サテライトで、精神科デイケアゆうとを立ち上げました。

2012年 認知症初期集中支援事業のモデル事業に取り組む荒尾市のこころの郷病院へ訪問

その地域の平たい関係の中ではぐくまれた連携、この連携の考えなしに、認知症初期集中支援事業はできないと思いました。この事業への関心が大きく膨らみました。地域活動により積極的になりました。

2013年 筑波大学付属病院で行われていた軽度認知障害の方のデイケア体験

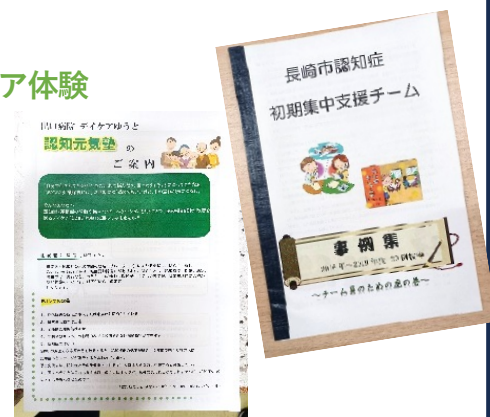
軽度認知障害、また軽度の認知症の方の活動のニーズを知り、なかなか手が届かなかった軽度の方が集う場、「認知元気塾」を精神科デイケアゆうとで開きました。

2016年 長崎市の認知症初期集中支援モデル事業にかかわる

制度化以降、北部エリアで260ケースに介入してきました。詳しくは長崎市認知症初期集中支援事業を検索ください。

語りきれないすべてが充実のOT体験です。

後輩の皆様へ、制度や事象による変化を待つのではなく、その流れをつかんで、現状に変化を起こすのは「私」しかありません。そのためには、OTとして関われる世界に「私」を投げ出してほしいと願います。「私」として関われることは、身近にもたくさんあり、そこで得られた出会い、経験は、「私の実際」を変えていく力をきっと生み出していきます。そんな皆さんの力によって、認知症の実際も、また変化を起こしていくのだと思います。



広報局のすすめ本



チームアプローチの実践に悩む OTに読んで欲しい一冊

「作業療法士が書いた理論に基づいたチームアプローチの本！」チーム医療を円滑に進めるために、多種多様な専門職が互いの専門性や信念を超えて協働する方法論として開発された「信念対立解明アプローチ」の入門書。理論から実践まで、事例を通してやさしく解説する。医師、看護師をはじめ、保健医療福祉で連携する専門職必読の一冊です。

出版社：中央法規出版



発達障害に興味を持っている、 もっと深めたいと想っているOTへ

子どもたちへの支援に必要な発達科学を基礎から学ぶことができます。子どもたちが自分の生きている世界へ探索し、社会との関わりを構築しながら発達していくという考えのもと、セラピストが介入することへの意義と、実際の療育・支援に役に立つヒントがあります。

出版社：協同医書出版社



初学者から中級者向けで、 患者教育や後輩指導にも使いやすいです。

この本は他の整形外科の教科書に比べて圧倒的にわかりやすいので、仕事でもサッと確認できます。基本的な解剖やプロトコールに沿って運動指導の方法も記載されています。そして「臨床あるある」もピックアップされており、臨床現場では欠かせない教科書です!!

出版社：医学書院



自分のいる組織（チーム）を もっと良くしたいと感じているOT

「誰であっても、リーダーシップをとって組織を変えることができる」、そんな勇気を与えてくれる1冊です。目指したいと思える組織の理想像や、組織を変えていくためのメソッドを体系化した内容がイラストを含めわかりやすく説明されています。どの職種、分野であろうと是非一読を！そこにあなたが一歩を踏み出すヒントがある！

出版社：クロスメディア・パブリッシング(インプレス)



ママさんOT 「仕事と家庭の両立を楽しむ！」

PROFILE

長崎リハビリテーション病院 小川 円香

- ✓ OT15年目、回復期リハビリテーション病棟でOTリーダー
- ✓ 現在、時短勤務で奮闘中
- ✓ 夫と子供（3歳、6歳）の4人家族
- ✓ 近くに義母が住んでおり、子育てに恵まれた環境



■仕事と家庭の両立

・・・正直大変です！

「時間がいくらあっても足りない！」「自分の時間がない！」子育て中のママさん、パパさんなら共感してくれると思います。子供は大人の事情はどこ吹く風で、マイペース。「早くして！」

「急いで！」1日に何度声をかけることでしょうか。朝の支度が第1ラウンド、仕事第2ラウンド、帰宅後また第3ラウンドが待っています。体力のない私は寝る前はヘトヘトです。子供が言うことを聞かない際はイライラしつつも無邪気な笑顔に癒され、なんとか日々を乗り切っています。時短勤務はフルタイムのとき以上に仕事の効率化が求められます。2年前にリーダー昇進の話があったときには、仕事と家庭の両立に不安もあり、自分に務まるのだろうか悩みました。最終的に、自分の後押しや周りのサポートもあり承諾したのですが、それからは試行錯誤の日々でした。

■両立する上で大切にしていること

これまで順風満帆とはいかず紆余曲折ありましたが、結局重要なのは自分自身が元気でいることだと感じます。私が大切にしていることは次の3つです。



① 自分の時間を持つこと

朝生活にシフトし子供が起きるまではヨガや読書など好きなことをする時間に行っています。時には主人に子供達を頼み友人と外食にいったり、お風呂で1人湯船に浸かりリラックスする時間も持っています。

② 自分で予定をコントロール

出来ている実感を持つこと

抱えている仕事はスマホのメモに全て書き出し、頭の中を整理しています。出勤前には、その日行うことを「TODOリスト」に優先度順に記載しています。ポイントは1日に行う雑務は3つまでにすること。沢山書き出すと結局終わらず、逆にストレスになるからです。予定通りに終わると達成感にも繋がります。帰宅後の家事は子供の相手をしながらだと大変なので、朝のうちに洗濯物たたみや料理の下ごしらえなどを済ませています。子供と一緒に就寝するので、夜の家事は夫が主に担当してくれています。

③ 自己研鑽の時間を持つこと

コロナ禍を機にWEB研修も増えました。最近では、会員になると臨床の悩み相談や研修後に復習動画などを提供してくれる団体もあります。私も早朝や休日に動画研修を受け、臨床に取り入れています。

リーダーになる前は、家族や時短勤務を理由に多くのことを諦めていました。「どうやったら出来るか」という考え方にシフトしてからは色々なことに挑戦し楽しめるようになってきました。子供は現在も体調を崩したり、仕事時間が時間内に終わらないことはありませんが、家族や理解ある職場の先輩・後輩に支えてもらい今があります。

周囲の人への感謝の気持ちを忘れず日々前進！



長崎OTの情報求む



ナガサキOTポスト



投稿フォームを活用し、長崎県作業療法士会員の情報提供をもとに、広報局員が取材を始める新たな双方型広報の窓口です！

ナガサキOTポストとは

長崎の作業療法士の数も1000人を超えました。今は多様性の時代です。OTの働き方も十人十色だと思います。「このOTすごい！面白い！」、「こんなことやってるんだ」など、みなさんの「声」をナガサキOTポストに投稿して、その声を深掘りしていきたいです！



こちらから
投稿できます！

ナガサキOTポストは以下の「声」を募集します！

A. 取材情報を提供したい！

—施設や人物、イベント等に関して取材依頼してみませんか？

B. 広報誌「さいかい」の表紙画像を提供したい！

—患者さん、利用者さんなどと作った作品を掲載してみませんか？

C. 「私たちこんなことやっています」に投稿したい！

—病院・施設などの取り組みを紹介してみませんか？

D. 「ママさん・パパさんOT」に投稿したい！

—限られた時間で目の前の対象者、家族に向き合うOTを紹介しませんか？

E. 「少しかわったことに挑戦しているOT」に投稿したい！

—こちらはどんな情報でも大歓迎です！

F. 広報局の仕事に興味がある！

—私たちと一緒に活動してみませんか？

編集後記

さいかい115号はどうでしたでしょうか？今回の目玉はなんといっても4年ぶりの現地開催で行われる県学会ではないでしょうか。コロナ禍が明け、久しぶりの対面学会となっています。LIVE配信だけでなく、是非現地に足を運んでいただきたいです！学会後のレセプションの参加お待ちしております！

ゆかいな編集担当広報局員

公立小浜病院
吉田 将人

宮崎病院
原 修平

宮崎病院
池田 結花



池田病院
中村 ひかる



第30回長崎県作業療法学会

The 30th Nagasaki Occupational Therapy Congress

専門的な作業療法の
探究と発展

2024

会期

3/9(土) 10(日)

学会長

山田 玄太 (愛野記念病院)

会場

愛の夢未来センター



学会HP



Instagram